

事業の基礎情報

事業実施地域	愛媛県・八幡浜市
人材育成の対象	市民、事業者、行政、交通会議委員等、公共交通に関心のある者
人材育成の手法	キックオフイベントで広く参加者を募集し、計4回の勉強会を経て、活動報告会を開催するサイクルで1期とする。
人材育成の内容	対象者の特性に応じた公共交通利用や楽しいおでかけの機会創出を行えるおでかけアドバイザーを養成する。
想定育成人数	おでかけアドバイザー：約20名 （キックオフイベント・活動報告会・地域企画等参加者：約100名）

取組の概要

（現状の地域課題と事業目的）

八幡浜市では、令和4年度に策定した地域公共交通計画において「市民がそれぞれの立場で公共交通を利用、及び活用することを推進」と明記し、対象者の特性に合わせたモビリティ・マネジメント企画を実施して、公共交通の利用促進に取り組んでいる。一方、こうした事業の必要性に反して、行政単独の事業は担当者の人員不足や異動に伴う経験不足といったリスクを常に抱えている。また、単発の企画では、取り組みが地域へ定着していない。行政と共に長期的に歩んでいただける「地域の担い手養成」によって、モビリティ・マネジメント企画の市全域への波及と持続的な展開を目指す。

（事業の概要）

市民、事業者、行政、交通会議委員等から参加者を募り、公共交通利用のアドバイスや、乗車体験イベントのような「公共交通×おでかけ」の機会創出を行う知識・ノウハウを習得するプログラムを実施し、居住地域や個人の目的に寄り添った公共交通利用や楽しいおでかけの機会創出を行える「おでかけアドバイザー」を養成するとともに、推進体制として「おでかけアドバイザー制度」を立ち上げる。

行政主体・単発の利用促進企画



おでかけアドバイザー
地域の担い手を養成し、
利用促進企画を市全体へ
& 地域への定着を目指す

取組の詳細

（事業により見込まれる効果）

地域での利用促進企画の実施回数の増加や、キックオフイベントや活動報告会、地域企画を経て、アドバイザーに限らず、公共交通に関心のある関係者数が増加（100名程度を目指す。）することが見込まれる。

また、交通空白地等の地域において、おでかけアドバイザーが起点となって、当市で既に自家用有償旅客運送を運営しているNPO法人にこここ日土のような地域主体の取り組みが新たに生まれることを期待する。

（事業実施手順・スケジュール）

【事業実施主体】八幡浜市地域公共交通会議

【事業実施手順】

- ①10月：キックオフイベント 対象：市民、事業者、行政、交通会議委員等
- ②おでかけアドバイザー養成勉強会（計4回）
対象：キックオフイベント等に参加し、おでかけアドバイザーへの参加を応募した者
11月中旬：八幡浜市の公共交通を知る
12月上旬：公共交通利用のアドバイス方法を学ぶ
12月中旬：公共交通利用のアドバイスを試みる
1月：アドバイザーとして地域での企画を立案、活動報告会の準備
- ③2月上旬：活動報告会 対象：市民、事業者、行政、交通会議委員、愛媛県内自治体等

（補助事業実施後の予定）

令和6年度は、要綱等の作成や、活動報告会での立ち上げ宣言によって、補助事業終了後も制度を継続するための環境を整える。また、交通計画において、計画期間である令和9年度までモビリティ・マネジメント企画を随時実施することとしているが、計画を改定し、おでかけアドバイザー制度の内容を追記し、明文化することとする。改定した交通計画に基づき、令和7年度以降は、おでかけアドバイザーとともにモビリティ・マネジメントを推進するとともに、定期的に活動報告会を設ける等、進捗を交通会議で確認する。最終的にはアドバイザーがアドバイザーを育成できるような自走の体制を構築できるよう、交通会議として支援を継続する。